

卒後 50 年記念同期会、11 組レポート！

同級会雑感

山岸敏夫（11 組）

時間という有限資産が確実に減少していく中で上田高校仲間の会合への参加は自分のアイデンティティをなす一部分の確認であり、リラックスできる場でもあった。クラス同期はともかく他クラスの知人とは本当に久しぶりに近況を語るなか、瞬間に 3 時間が過ぎ一次会は終了してしまっただ。幹事団のご苦勞に大感激。

2 次会は羽田君御用達の店に。他クラスからは岩崎ひとみさん（和雄夫人で 1 組）、柿崎良男君（10 組）が参加してくれた。ひとみさんのカラオケを聞かせてもらったが、声量の豊かさ、絶妙なこぶしと確かなフレーズに圧倒され、続いて何人かマイクを握っていたがよく覚えていない。柿崎君は授業で一緒の科目もあり、とにかく秀才、なんであの難問が解るのか不思議に思っていた。

年齢相応の風貌になっており懐かしの再会、歓談であった。

クラス会も回を重ねるごとに出席メンバーが固定化しつつあることが残念である。過去のクラス会を含め卒業以来、私が会えていない諸氏は名簿を辿ると 11 名であった。次回には今回欠席者も含めてさらに多くの参加を期待したい。

当夜は鹿教湯温泉の羽田君の隠れ家で中山君、村田君と一夜をとともに。

翌日は豪雨、今話題の我が真田町をぶらつく予定を変更し、鹿教湯より松本駅に出て帰阪した。

【写真 1: 同期会で 11 組全員集合（最後列左から 4 人目が筆者）】



【写真 2: 11組出席者の寄せ書き】

